

団体名

大門DIVE!実行委員会

団体概要

名古屋市中村区大門地区の外の地域で暮らすメンバーが中心となり、よそ者の視点から大門の魅力を再発見しイベント開催によって発信することで、大門地区のファンを増やすコミュニティデザインを目指す一方で、大門地区の新住人が大門地区の地域活動に参加しやすい窓口となることを目的とする。

活動名：よそ者目線で大門の昔と今をつなげる橋渡し！

1

活動の目的

名古屋市の事業であるナゴヤ商店街オープンで、新大門商店街をイベントにより盛り上げるコミュニティデザインチーム『大門DIVE!』として結成しました。よそ者の視点から、大門地域の魅力を再発見し、イベントを通して大門を親しみやすい安全な街としてPRしていくことを目的としています。

2

活動の内容

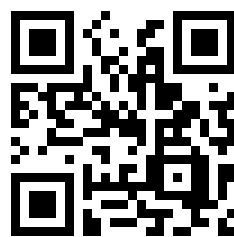
街のアイコンにしたいモバイルワゴンの製作

イベント時の集合場所や、コミュニティエリアとして機能するリヤカー型のワゴンを製作しました。店舗などの拠点を持たない私たちにとって、イベント開催時に集合場所として機能します。



講演会：商店街活性化につながるなりわいづくり

名古屋大学の高野雅夫教授をお招きし、8月11日に開催しました。コロナを考慮し会場は大門地域の方を中心に招待し、その他の方はオンライン配信で対応しました。また、講演の様子は現在YouTubeで公開しています。<https://youtu.be/Rw80ExUTsh8>



YouTube動画はこちら

地元の人以外には入りにくいお店を楽しむツアー

宝来ビリヤード場と麻雀の学べる喫茶店カフェドオレンジを巡りました。宝来ビリヤード場は戦前から続くお店で、店主から大門の昔話も聞けて有意義な時間を過ごせました。



3

活動の振り返り

ミーティングは、毎回、商店街の喫茶店を積極的に利用し、我々の顔を覚えてもらい、地域に溶け込めるようにしました。コロナの影響で人が集まるイベントは難しかったですが、次年度はモバイルワゴンを活用しながら街で楽しんでもらえることを企画していこうと思っています。

